

日本共産党

こんにちは 市会議員
南畑さち代 です

No. 66
2015・12・20
連絡先
453-7758

12月議会報告

山口地区産業廃棄物安定型最終処分場建設に関する反対決議案「可決」

12月議会開会中に山口地区連合自治会（会長・園部尚正氏）から、「和歌山市議会において『山口地区産業廃棄物安定型最終処分場建設の反対決議を求める請願』」が提出され、採択されたことを受け、議員発議として建設反対の決議案が上程され、12月14日の市議会本会議で31名の賛成により可決されました。

2011年の4月に山口地区滝畑に産業廃棄物安定型最終処分場計画が明らかとなつてから約5年が経過しました。地元・関係住民の方々は血のにじむような反対運動を展開され、昨年の市長選挙では候補者全員が「計画反対」を表明し、当選された尾花市長も議会で「選挙中の『産廃反対』の意思表示は公約と受け取られているもの」と

答弁しました。しかし、業者は計画を断念せず、本申請に向け準備を進めています。このような状況の中、和歌山市議会に対し山口地区連合自治会から「請願」が提出されました。

請願の趣旨は「和歌山市議会において、山口地区山中に計画中の産業廃棄物安定型最終処分場設置計画について、下記の理由により貴市議会における反対の決議を求めます」というものです。



日本共産党 和歌山市会議員
南畑 さち代

①産業廃棄物安定型最終処分場建設設置計画場所（以下、計画地という）は、水源地であり貴重な水資源が汚染される。②計画地は脆弱な地盤、地質で山地災害により計画地そのものが崩壊する危険性がある。③当該処分場設置計画は、周辺の市民生活を脅かす」等としています。



12月14日の採決場面の一部

請願が付託された厚生委員会では12月9日、請願が採択され、12月定例会市議会最終日の12月14日には、賛成議員30人（紹介議員は、共産党市議団5人を含む30人）で採択されました。また、この請願を受け、議員発議として「山口地区に計画されている産業廃棄物安定型最終処分場の建設に関する反対決議案」が30人の議員から提出され、1人の賛同者が加わり、31人で可決されました。

私は、請願と発議の採択に市会議員として立ち会えて感無量です！ 傍聴

席は、地元山口地域だけでなく、阪南市や支援する運動団体の方などで埋め尽くされ、結果を見守り、賛成多数での採決をし、しっかりと目に焼き付けました。

業者は計画を断念すべきです。しかし、12月4日業者は正式に「産業廃棄物処理施設（安定型最終処分場）事業計画書」を市に提出しました。いよいよ反対運動はこれからが正念場です。私は業者に計画を断念させるため引き続き奮闘する決意です。（左は反対決議全文）

山口地区に計画されている産業廃棄物安定型最終処分場の建設に関する反対決議山口地区産業廃棄物安定型最終処分場の建設計画については、

一、当該処分場の設置計画場所（以下「計画地」という）の南西斜面からは、湧水が流れ出て七瀬川を経て紀の川に注いでおり、また、計画地を源流とする滝畑川は、住民の飲料水や農業用水など多方面に利用され、大阪府阪南市を流れる山中川、男里川へ注ぐことから、埋め立てられた産業廃棄物により貴重な水資源が汚染されるおそれがある。

一、計画地周辺は、和泉葛城近郊緑地保全区域に指定され、県が「山地災害危険地区（崩壊土砂流出危険地区）」に指定した標高230メートルの高所で、脆弱な地盤である地質の上に構造物を建設することは、斜面崩壊や土砂災害を誘発するおそれがある。

一、計画地は、中央構造線活断層（根来断層）の直下型地震の震源域に位置し、地殻変動により汚染水等が当該処分場から流出すれば、周辺住民の生活環境が脅かされ、現状回復は極めて困難となる恐れがある。

よって、本市議会は、山口地区に計画されている産業廃棄物安定型最終処分場が建設されることに反対する。

以上、決議する。

税などの滞納問題について

市は、昨年まで滞納者が納税したとき、納期別毎に本税と延滞金の順で充当したため、長期に滞納していた場合、延滞金を含めた滞納額全体をなかなか減らすことが出来ず、その結果過酷な取り立てをする地方税回収機構に回された市民がいます。市は今年から期別ではなく、先に本税に充当すること変更しました。私は「これまでの手法が間違っていたから変えたのではないのか」と指摘し、「地方税法に定める本税優先の充当としてこなかったことは法の趣旨である納税緩和制度になっていない」と追及しました。小林亮介財務局長は、「法の趣旨に則り期別に充当してきた」と答えるのみでした。

中学校給食の充実を！

現在、実施されている中学校給食は、利用したい生徒だけが業者弁当を注文するデリバリー方式となっています。2012年10月から開始され、平均喫食率は昨年度（18校中16校で実施）で17・8％と年々下がっています。中学校給食を始める際、中学校給食協議会などで「親子方式や自校方式が望ましい」と結論が出

ていましたが、急遽教育委員会は短期間で全校実施できるデリバリー方式を採用しました。今、小学校では生徒数が減少しています。しかし、給食施設の処理能力はそのままです。私の「小学校の給食施設等を活用し、保護者や生徒の当初の願いを実現する方向も考えられます。今後の展望はどうか」との質問に、秋月教育局長は「喫食率の低迷が続くと給食の目的達成に向けての取り組みが難しい」「本来給食は全員給食とすることが食育の効果も大きい」「小・中一貫校を含め中学校給食

「和歌山赤旗まつり」開催



(最後は出演者などが舞台周辺に揃いました)

11月8日「和歌山赤旗まつり」が片男波公園で開催され、時に強い雨が降ったものの、1500人の参加者の楽しむ姿であふれました。ステージでは「制服向上委員会」やサーカス、サクソフオン演奏が参加者を魅了。河北地区でもおなじみの「TOY BOX」は「ヒロシマの有る国で」などを披露しました。講演をした小池晃副委員長は、「安倍政権を打倒し、戦争法廃止の国民連合政府の実現を」と訴えました。

コウノトリが飛来！



(川辺の中洲のコウノトリ。園部の吉村さん提供)

のあり方を検討すべきものと答弁しました。

3年ほど前から楠見地域などにコウノトリが飛来しており、最近では川辺地域の紀の川の中洲に飛来しています。愛称は「コウちゃん(雄)」です。最近では雌も飛来しているとのこと(愛好家の方の話)。中洲には世界的に希少動物とされているナベツルも飛来しているそうです。この地域が11月18日から12月1日まで、紀ノ川漁業組合が鮎の食害になるカワウやサギの駆除を実施する予定でしたが、コウノトリやナベツルの飛来が確認されたことにより、市として紀ノ川漁業組合に有害駆除の中止を要請し、協力が得られました。市長は18日「コウノトリへの誤射防止のためカワウの有害駆除の中止について」を記者発表しました。私だけでなく複数の議員が担当課に対応を求めました。和歌山市でつがいとなって、殖えることを願っています。

無料生活法律相談

日時：1月 6日(水)
1月20日(水)
午後6時～7時
会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時～12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113(日本共産党市議団直通)

本年は大変お世話になり、ありがとうございます。来年も、市民の願いごとく、あたたかい市政の実現をめざして、精いっぱいがんばります。よろしくお願いたします。